



牧山クラインガルテン 30周年！

北区中牧にある「牧山クラインガルテン」は、今年で30周年を迎える市民農園です。豊かな自然に囲まれた環境の中で、ゆったりと野菜や果実の栽培を楽しむ場所として、多くの利用者に親しまれています。園内には、ラウベという小屋が付いた農園や、気軽に通って農作業ができる普通農園などがあり、暮らしに合わせて農作業を楽しむことが魅力の1つです。

入園者の中には、野菜作りが初めてという人も多いため、年に2回栽培講習会が開催されています。家族連れの利用者も多く、作付けや収穫体験だけでなく、バーベキューを楽しむ姿も見られます。

節目の年となる今年は、毎年11月に開催される「牧山&クラインガルテン収穫祭」にあわせて、30周年記念式典を



▲ラウベ付き農園

実施します。式典では、開園当初からの利用者や関係者への感謝状の贈呈などが予定されています。

毎週土・日曜日には、採れたて野菜の青空市も開かれています。30周年を迎えるこの機会に、自然豊かな牧山クラインガルテンの魅力を感じに、ぜひ一度足を運んでみてください。



▲栽培講習会



●問い合わせ先
北区役所農林水産振興課 ☎086-803-1661



水の事故に気を付けよう ～南消防署～

もうすぐ楽しい夏休み。海や川でのレジャーが増えるこの時期は、全国的に水の事故が多く発生します。水遊びは楽しい反面、思わぬ事故につながることもありますので十分に注意しましょう。

南消防署には、あらゆる水の事故に対応するため水難救助隊が配置されています。昨年度は水難救助車が新しくなり、従来の車両に比べてコンパクトになったことで機動性が増し、さまざまな水難現場に出動できるようになりました。

また、市民の皆さんを水の事故から守るため、昨年4月に運用開始した消防局水難救助訓練施設で日々訓練に励んでいます。この施設には、市民の皆さんが体験を通して風水害について学べる「5つの風水害体験・学習エリア」を整備しています。ぜひご利用ください。

風水害体験エリアの詳細はこちら▶



水の事故に遭わないために、市民の皆さんに守ってほしいポイントをお伝えします。

- ① 遊泳するときは、管理された海水浴場を利用する
 - ② 体調が悪いときや飲酒したときは水に入らない
 - ③ 子どもから目を離さない
 - ④ 子どもにはライフジャケットを必ず着用させる
 - ⑤ 事前に天気予報を確認し、天候の変化に注意する
 - ⑥ 電話などを防水パックに入れ連絡手段を確保する
- 水の事故に気を付けて、夏の楽しい思い出を！



▲水難救助車



▲水難救助訓練施設での体験の様子

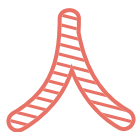
●問い合わせ先 南消防署 ☎086-262-0119



Interview

北区

まちの未来を
つくる



地域クラブ代表兼指導者

藤井章博さん

Profile

岡北中学校バドミントン部で部活動の指導を経験し、現在は同校バドミントンクラブの指導者として週末を中心に活躍中。



子どもたちが
選択肢を
持つように!



「子どもたちの『やりたい』を地域で応援できたら」

— 指導者を始めたきっかけを教えてください。

所属する社会人バドミントンサークルの前代表からの誘いがきっかけです。以前から指導に興味があったので、部活動の指導を引き受けました。

— 活動のなかで大切にしていることは？

「受容」と「傾聴」です。生徒と同じ目線に立ち、喜びや悔しさを共有することから始めました。また、子どもたちが自ら学ぶ力を育めるよう、あえて「教えすぎない指導」を意識しています。

— 技術だけでなく、自主性も育てているんですね。

はい。加えて、けがを防ぐために「体をまんべんなく動かす練習」も意識しています。同じ部位への負荷の集中はけがの原因になるからです。練習では、体のバランスを保つために重要な「中心軸」を使った動きも取り入れています。中心軸は他の運動や日常動作にも応用でき、将来バドミントン以外の道に進んだとしても経験が生きるはずですよ。

— 活動としてのこれからの目標は？

成績面では「団体戦での県大会出場」です。バドミントンは基本的に個人競技ですが、子どもたちがチームとして支え合い、絆をさらに育めるよう、長期的にサポートしていきたいと思っています。

— 部活動地域展開の意義をどう感じていますか。

素晴らしい取り組みだと感じています。現在は少子化や指導者不足で部活動を縮小している学校もありますが、地域展開が進めば、子どもたちの活動の場を地域全体で支えられるようになります。学校に希望する部活動がなくても、地域のクラブに参加できれば、子どもたちの選択肢はもっと広がると思います。

— 指導者に興味がある人へメッセージを！

部活動のOB・OGの方や第一線を退いた指導者の方など、いろんな世代の言葉が子どもたちの学びになります。少しでも興味があれば、まずは一歩踏み出してみてください！



生き生きと練習に励む子どもたち。保護者からも「指導者の方々が『いつでも見学に来てください』と言ってくださるので、子どもたちの成長を見ることができてうれしい」と好評だ